

板野町総合戦略評価シート

(評価対象年度: **令和2年度**)

作成者: 板野町総務課

【評価シートについて】

- この評価シートは、令和2年3月に策定した板野町第二期総合戦略に位置づけられた施策について、KPI等により評価・検証し、必要に応じた総合戦略の評価等を実施するために作成したものです。
- 事業内容と進捗状況・課題欄には、主な取組の成果や課題等を記入しています。
- 今後の取組方針欄には、次年度以降の施策の取組方針を記入しています。
- 自己評価欄は、R2年度の取組内容と進捗状況により、R2年度における施策の担当課における自己評価を記入しています。

自己評価の基準	A:事業内容は適切である B:事業内容は適切だが、課題が少しあり、事業の一部見直しが必要 C:課題が多く、事業やKPIの大幅な見直しが必要 D:事業の休・廃止を含めた検討が必要
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------

全体評価	施策数:35項目 A評価:13項目 B評価:23項目 C評価:0項目 D評価:0項目
------	--------------------------------------------------------

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
1 観光魅力の強化による交流拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業 ・あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続 ・常設ウォーキングコースの整備 ・ウォーキングラリーの実施 ・ガイド倶楽部の創設 ・「へんろ文化」の再生事業 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】 (あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続) 例年産業課で地産地消部門として、飲食ブース等の出店をしているが、新型コロナウイルスの影響で、開催ができていない。新型コロナウイルス感染症の蔓延状況にもよるが今後とも出店ブース等の継続とさらなる内容の充実を図っていく。 (「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業) 新型コロナウイルス感染症対策により、全般的にイベントは中止となった。イベント等で町のPRは実施しているものの事業として、関連できていない。(ガイド倶楽部の創設) ガイド倶楽部の創設はしたものの、活用までには至っていない。 【課題】 (あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続) 新型コロナウイルス感染症対策の徹底でどのように開催していくかが課題である。 (「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業) コロナ禍でのイベント開催とイベント開催時の町のPRと事業としての関連できていない。 (ガイド倶楽部の創設) ガイド倶楽部の有効活用を検討していく必要がある。</p> <p>R2取組内容 (あさんWF) ・板野町・あすたむらんど徳島・大塚製薬(株)徳島板野工場・徳島スポーツビレッジの官民一体となり町PRを目的としたウォーキングがメインのイベントで事前受付の10kmコースと当日受付の4kmコースがあり、どちらのコースも参加無料となっている。 また、多世代が楽しめるようにウォーキング以外にもゲストのトークショーや地産地消ブースとして飲食店等の出店も行っている。 第12回目の開催を予定していたが、募集人数が10km・4kmコース合わせ約5,000名と大規模になるため、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となった。 (常設ウォーキングコース) ウォーキングの町いたのとして県内外からの参加者にいつでも歩いて頂けるようあさんWF10kmコース(一部除く)をモデルコースとして整備し、あさんWFのHPに掲載し活用して頂けるようにしている。 【課題】 (あさんWF) ・ウォーキングという健康が主なイベントのため、集客も重要だが感染症対策をどのように図るのか要検討。 ・イベントを通じて町をより知って頂くための情報発信方法の検討。 ・新しいことを取り入れつつ、持続可能な運営。 (常設ウォーキング) ・ウォーキングを楽しめるよう、安全で安心な新コースの設置検討。 (ウォーキングラリー) ・新コースの設置の検討及びイベントの周知方法の検討。</p>	<p>(「あすたむらんど」訪問客の町中への誘導事業) 新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが今後ともあさんウォーキングフェスティバルや婚活イベント、新規の関連イベント等で町のPRを実施していく。 (あさんウォーキングフェスティバルの充実・継続) 新型コロナウイルス感染症の状況にもよるが今後とも出店ブース等の継続と更なる内容の充実を図っていく。(ガイド倶楽部の創設) 活動するメンバーを再確認する必要がある。</p> <p>(あさんWF) ・感染症対策を図りながら、事業の継続とともに多くの方に町をより知って頂く機会を増やし、効果的な取組になるよう努める。 (常設ウォーキングコースの整備) ・財政的なことや費用対効果を検証しながら今後検討をしていく。 (ウォーキングラリーの実施) ・実施を検討していく。</p>	産業課 教育委員会	B
	<p>【KPI】 ○町内滞留人口</p>	<p>目標値</p> <p>実績値</p>	113.2万人	113.2万人	113.2万人	113.2万人	113.2万人		産業課	

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
2 観光と他産業・他部門等との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> 付加価値を付けた野菜直売所・収穫体験の場の整備 徳島ヴォルティス支援と交流促進事業（小・中・高一貫のサッカー教育） 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】 （付加価値を付けた野菜直売所の整備） 道の駅の完成に伴い、直売所等が整備できた。 （徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） 例年板野町民デーや県民デーで、町内の団体等に協力を頂いて出店をしたり、抽選会の商品を提供している。また、町内のヴォルティス支援団体と応援ツアーを実施している。しかし、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、いずれも開催できなかった。</p> <p>【課題】 （付加価値を付けた野菜直売所の整備） 整備できた直売所で、どのように付加価値を付けていくかが課題である。 （徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） コロナ禍で、どのように会員増や試合での来場者の増加を図るかが課題である。</p> <p>【R2取組内容】 （徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） 町PRを目的としたあさんWFの運営を特別協賛として徳島スポーツビレッジ（ヴォルティス）と協力し合い、イベントの催しの一つとして町内外の参加者同士がサッカー教室を通じて交流を深めている。</p> <p>【課題】 （徳島ヴォルティス支援と交流促進事業） あさんWF当日、あすたむらんど来園者がサッカー教室に参加しやすいよう、受付場所等の周知や、開催時間等の調整</p>	<p>（付加価値を付けた野菜直売所の整備） 令和3年4月にオープンしとのに伴い徐々に付加価値を付けていく。 （徳島ヴォルティス支援等） 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、町内の支援団体とともに引き続きヴォルティスを支援し、ヴォルティスのファンや会員を増やしていく。</p> <p>（徳島ヴォルティス支援等） 相互協力しながら、引き続き事業を継続していく。</p>	産業課 教育委員会	A
	<p>【KPI】 ○板野町観光推進協議会開催回数</p>	<p>目標値</p>	1回	1回	1回	1回	1回		産業課	
		実績値	—							

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
3 道の駅整備による拠点形成	★地元産直品を活かした物産センター・レストランの整備 ★観光案内所の設置 ★水素ステーション・EV急速充電器の整備 ★発災時支援活動拠点と避難所機能の整備	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 令和3年3月30日の竣工時点でEV急速充電器は2台設置完了し、水素ステーションは用地の整備が完了している。 【課題】 水素ステーションは11月1日に運営開始。共に運営する事業者との協定書の締結などの予定もまとまっており、特に課題なし。 【R2取組内容】 (地元産直品を活かした物産センター・レストランの整備) 令和3年3月末に道の駅が完成し、開駅をしたことに伴い、物産センター・レストランの整備ができた。 (観光案内所の設置) 令和3年3月末に道の駅が完成し、開駅をしたことに伴い、観光案内所も整備ができた。 【課題】 (地元産直品を活かした物産センター・レストランの整備) 物産センター・レストランの整備後、どのように有効活用していくかが課題である。 (観光案内所の設置) 観光案内所の整備後、どのように有効活用していくかが課題である。 【R2取組内容】 (町防災ステーションの整備) 避難者90人収容可能な避難所機能が役場庁舎の代替施設としての機能等を有した施設の整備ができた。	11月1日に水素ステーションの運営を開始。 (地元産直品を活かした物産センター・レストランの整備) 物産センターの商品を地元産の商品へと充実していく。 (観光案内所の設置) チラシやパンフレットの数や内容を充実していく。 (発災時支援活動拠点と避難所機能の整備) 訓練後、支援活動拠点として十分機能するよう改善点を洗い出しソフト面も含め対策を講じていく。 令和3年9月1日にコロナ対策を講じて徳島県総合防災訓練を実施。本町は避難所設置運営訓練を行う。	建設課 産業課 総務課	A
	【KPI】 ○産業振興・観光・防災・地域福祉の総合拠点施設形成による買い物客数	目標値	-	31.2万人	31.2万人	31.2万人	31.2万人		建設課 産業課	
		実績値	-							
	【KPI】 ○地域振興施設(産地直売所・加工施設・農家レストラン・軽飲食施設等)の売上げ(想定カウント方法)売上額をそのまま計上する	目標値	-	65,000千円	393,248千円	400,000千円	400,000千円		産業課	
		実績値	-							
【KPI】 ○地域振興施設(産地直売所・加工施設・農家レストラン・軽飲食施設等)利用者による交流人口増加数(想定カウント方法)町内客と町外客の区別ができるポイントカード配布	目標値	-	12,000人	73,000人	78,000人	78,000人		産業課		
	実績値	-								
【KPI】 ○地域振興施設利用者によるあせび温泉利用者数(想定カウント方法)地域振興施設での買い物を証明するレシートをあせび温泉へ持参した方に、温泉利用料を割り引くなどの特典を得た人数	目標値	-	1,200人	7,300人	7,800人	7,800人		産業課		
	実績値	-								
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				

基本目標1 新しい人の流れづくり

4 交流を促す情報等基盤環境の整備及び積極的な情報発信	★板野町のイメージ形成とPR強化（SNSを含む）	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 道の駅を整備中に新聞社等のマスコミや観光関連のガイドブック等で道の駅のPRをした。 【課題】 道の駅を中心とした板野町のPRをSNS上で充実できるかが課題である。	今後も引き続き新聞社等のマスコミや観光関連のガイドブック等に道の駅を中心としたPRを充実していく。	産業課	A
	【KPI】 ○町PR動画作成によるホームページアクセス数	目標値	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件	1,000件		産業課	
	実績値	—								

基本目標1 新しい人の流れづくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
7 里帰り促進	・孫世代の「里帰り」訓練の場としての「大坂分校」の夏季学級の開校	推進	→	→	→	→	<p>【事業概要】 仲間と体験や思い出を共有し、板野町に「帰ってきたい、住んでみたい」と感じてもらうため、孫世代の里帰り訓練の場として夏季学級を開校する。</p> <p>【R2取組内容】 取組なし</p> <p>【課題】 ・夏季学級の内容や期間をどのように魅力あるものにするのか。 ・県外に進学や就職をした方の追跡調査や帰省の状況等を調べる必要がある。 ・多数の人に参加してもらえるような周知方法を検討する。</p>	<p>・実践例や類似例があれば、参考にしながら事業を進めて行くとともに、板野町を良い町と感じてもらえる、効果的な取組になるよう努める。</p> <p>都市圏等の県外に進学をした方が自然と触れ合える環境を求めて、Uターンや移住を考えて頂けるような充実したプログラムの作成や効果的な情報発信を検討する必要がある。</p>	教育委員会	B
	<p>【KPI】 ○「里帰り」孫世代夏季学級体験者数</p>	<p>目標値</p> <p>実績値</p>	1人	1人	1人	1人	1人		教育委員会	
8 移住の受け入れ環境の整備	<p>★他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応県産材を利用した住宅の整備</p> <p>・他市町村（県外）からの転入者の居宅新築等の補助金制度・税制度の優遇の創設</p> <p>・リタイアメント者を対象にした住まいと仕事の幹旋等の受け入れ体制整備</p> <p>・地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進</p>	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】 ・H27年度に町営平田団地南側に1,435㎡の用地を取得したが、現状は購入した状態のままである。 付近に多くの民間アパートが建設され、また複数の分譲地が整備されたため交通量が増えたため、以前からの懸案であった町営平田団地の駐車場不足（路上駐車）が一段と問題になったため、この用地は駐車場として整備することを決定した。</p> <p>【課題】 ・他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応住宅の建設については、別に用地を取得することが必要になった。</p> <p>【R2取組内容】 (地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進) 検討したが、本町に見合う事業が無かった。</p> <p>【課題】 (地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進) 地域おこし協力隊の任用</p>	<p>建設候補用地等と、活用できる交付金等を探し、転入者の居宅新築等の補助金制度や税制優遇について検討する。</p> <p>本町に見合う事業で、地域おこし協力隊が必要と判断されれば、検討していく。</p>	建設課 産業課	B
	<p>【KPI】 ○子育て世代（転入者対象）住宅整備数</p>	<p>目標値</p> <p>実績値</p>	-	-	-	-	1棟		建設課	

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
9 農業力の強化による雇用力の増強	<ul style="list-style-type: none"> 農業法人（個人事業等）の促進による若者の人材育成 企業・JA・金融等の連携による経営・収益力の向上 ブランド化のための地域一体となった取り組み 生産者キャラの情報発信の強化 	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 コロナ禍によりR2年度は実施できていないが、毎年認定農業者向けに税理士による税研修会（年1回）及び町内農業者向けに徳島県農業会議の協力により農業簿記教室（月1回程度）を実施し、税への知識を深め人材育成を行っている。 ・板野町の基幹作物であるにんじんを利用したドレッシング、そうめん等の開発販売に取組みブランド化を推進している。 【課題】 ・認定農業者への農地の集約を進め、更なる法人数の増加に努める事が必要。	・引き続き税の講習会等を行い、税に対する農業者の知識向上に努め、法人化に対する意欲を高める。	産業課	B
	【KPI】 ○農業法人数	目標値	8法人	8法人	8法人	8法人	8法人		産業課	
		実績値	10法人							
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
10 農業後継者対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> 農業後継者育成事業 体験農業型の県外者受入促進（定住促進） 	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 ・年1回農業者の研修として、農機具メーカーや種苗メーカー等を訪問し農業に対する知識を深め後継者の育成を行っている。 ・随時新規就農の相談は受け入れし後継者となるべく人材の就農支援を行っている。 【課題】 ・新規に就農する人もいるが、加齢により農業を廃業する人はそれ以上に多く、全体としては農業者の減少傾向にある。	・引き続き研修及び、相談受入れ等を行い、後継者の育成や就農支援に努める。	産業課	B
	【KPI】 ○農業後継者数	目標値	70人	70人	70人	70人	70人		産業課	
		実績値	50人							

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
11 新規就農者の受け入れ体制の充実	・県外からのインターンシップ受け入れによる新たな雇用づくり	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 ・新規就農者の受け入れ体制の充実として、随時相談窓口を開いている。インターンシップの受け入れに関して、徳島県や農業会議などで実施している研修などを随時活用していく。 【課題】 ・新規就農者数は微増である。板野町で農業ができる環境作りが必要。	・引き続き研相談受け入れ等を行い、徳島県や農業会議の研修も活用していく。	産業課	B
	【KPI】 ○新規就農者数	目標値 実績値	2人 1人	2人	2人	2人	2人		産業課	
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
12 六次化産業への取組	★ニンジンドレッシングのブランド化と全国販売 ★新たな六次産業化の素材研究と販路開拓への取組 ・金融機関との連携による六次化ファンドづくり	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 ・地方創生推進交付金を活用し、徳島県と7市町でとくしま六次産業化推進連携協議会を設置。協議会の「大学等と連携した商品開発支援事業」を活用し、板野町ふるさと味づくり研究会が板野町の特産物である春にんじんを使ったにんじんけちゃっぷを開発した。 【課題】 ・開発した商品のブランド化を見込んだ販路拡大方法が課題である。	・開発した商品のブランド化を目指すため、地場農産物と併せて全国発信を行う。	産業課	B
	【KPI】 ○地元企業の特産品開発数	目標値 実績値	－ 1種類	－	－	－	2種類以上		産業課	

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
13 地産地消の推進	★地元商店と地場農産物とのコラボ商品の開発 ★給食センターにおける地産地消の推進 ・高齢者健康寿命対策健康食開発研究事業	推進	→	→	→	→	【R2取組内容と進捗状況】 ・H28年度に地方創生加速化交付金を活用し板野町ふるさと味づくり研究会に委託し、地場農産物をふんだんに使った高齢者向け弁当の開発。 R2年度も、開発した弁当の随時提供を行っている。 【課題】 ・開発した弁当を町民に広く浸透させる必要がある。 【R2取組内容】 ・地場産物活用状況45.85%（R2年度6.11月調査平均）であり、県下平均値42.2%を上回り概ね良好 ・町内農家に出向き野菜の納入を依頼 ・町商工会による加工品を使用 ・見積条件に県内産（町内産）と記載 ・町内産農産物供給数H27年度8品目→R2年度9品目 【課題】 ・1回の使用量が少量のため、農家にとってメリットが少ない ・地場産物の種類・時期が限られているため、これ以上の割合上昇は見込めない ・一定の規格を満たした町内産農産物を不足なく安定的に納入することが難しい	・今後もさらに地場農産物をふんだんに使用したメニューの開発を行っていくとともに、安定した提供が行えるよう他企業との連携も行っていく。 ・一般公募となると選定が難しいため、信頼のおける農家に直接依頼する方式を継続していく。子どもたちの口に入るものであるという理解を第一に、食の安心安全の確保を最重要課題として取り組んでいく	産業課 教育委員会	B
	【KPI】 ○商品開発企業連携数	目標値	-	-	-	-	2業者以上		産業課	
		実績値	0業者							
	【KPI】 ○学校給食センター食材地元業者購入	目標値	13店	13店	13店	13店	13店		教育委員会	
		実績値	10店							
【KPI】 ○健康食開発・地産地消レストランメニュー開発数	目標値	-	-	-	-	10種類以上		産業課		
	実績値	0種類								
【KPI】 ○介護保険認定率	目標値	21%未満	21%未満	21%未満	21%未満	21%未満		福祉保健課		
	実績値	20.3%								

基本目標2 安定した雇用の創出

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
14 企業誘致の促進	・町有地の未利用地を活用した企業立地の誘導 ★サテライトオフィス等の誘致	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 ソフトパークの第一区画が未利用地となっているが、南海トラフ地震に備え、災害発生時には、避難所の設置や災害廃棄物の仮置き場等に使用するため、販売は行っておらず、現在はソフトパーク誘致企業に敷地を短期貸し出しをしている。 【課題】 道の駅北側の町有地に優良企業を誘致できるかが課題である。	道の駅北側の町有地に優良企業を引き続き誘致していく。	産業課	B
	【KPI】 ○サテライトオフィス・コールセンター等情報関連産業誘致数	目標値	-	-	-	-	1社		産業課	
		実績値	0社							
	【KPI】 ○民間活力を利用した企業立地件数	目標値	-	-	1社	-	1社		産業課	
		実績値	0社							
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
15 立地条件を活かした新たなビジネス展開	・ICT等の利活用による地域の活性化 ・スポーツ合宿等を含めた宿泊施設の立地誘導 ・交通条件を活かした流通業の立地誘導	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 (交通条件を活かした流通業の立地誘導) 交通条件を活かした流通業の立地は、できなかった。 【課題】 (交通条件を活かした流通業の立地誘導) 流通業の進出意向が把握できていない。 【R2取組内容】 田園パークやスポーツビレッジ等各町内施設活用を促進し、町外住民を呼び込むことで中長期滞在において町内の魅力を発見できる足掛かりとなるよう宿泊施設の立地誘導に取り組む 【課題】 宿泊施設の立地誘導に向け、期間及びどのような内容・順序立てを行うか検討する必要がある。	(交通条件を活かした流通業の立地誘導) 流通業の進出意向への情報収集をしていく。 ・実践例や類似例があれば、参考にし事業を進めていくとともに、板野町の魅力を感じてもらえるよう効果的な取組になるよう努める。	総務課 教育委員会 産業課	B
	【KPI】 ○ICTまちづくり推進事業協力機関数	目標値	-	-	-	-	1社		総務課	
		実績値	0社							

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
18 子育てに対する経済的支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ★多子世帯への保育料・幼稚園授業料の軽減 ★町立幼稚園及び町立保育園の給食費・副食費完全無償化・学校給食費の半額補助 ★町立幼稚園授業料及び町立保育園保育料の完全無償化 ★義務教育終了までの医療費無料化、18才の年度末まで1レセプト600円以外の医療費無料化 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <p>【保育料の無償化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年4月より、第1子からの幼稚園の授業料の無料化を実施。 ・H28年10月より、第1子からの保育園の保育料の無料化を実施。 ・R1年10月より、町立保育園及び町立幼稚園の給食費の無料化を実施。 ・父母、子どもに板野町に住民登録を有し、居住していることが無料化の要件。 <p>【医療費の無料化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・義務義務教育終了までの医療費無料。H31年4月より義務教育終了後は1レセプト1月600円を超える額を助成。 <p>【保育料の無償化】</p> <p>【R2取組内容と進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年4月より、第1子からの幼稚園の授業料の無料化を実施。 ・R1年10月より、町立保育園及び町立幼稚園の給食費の無料化を実施。 ・父母、子どもに板野町に住民登録を有し、居住していることが無料化の要件。 ・幼稚園預かり保育についても、利用料は無料。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃貸住宅に転入した場合は、一時的なものであったり、定住につながるかはわからないが定住に繋がるよう施策等の構築が必要。 <p>【学校給食費の半額補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年10月より、保育園・幼稚園の給食費無償化を実施。 ・要保護・準要保護を除く小・中の児童生徒全員の給食費を半額のみ請求。（要保護は全額請求、準要保護は免除） 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き継続し推進していく ・引き続き継続していく 	住民課 教育委員会	A
	<p>【KPI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子育て世代転出数 ○子育て世代転入数 	目標値	30人	30人	30人	30人	30人		住民課	
	実績値	32人								
	目標値	50人	50人	50人	50人	50人				
	実績値	25人								

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
20 子育てに対する地域ぐるみでの支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ★幼稚園、保育園の保育時間の延長 ・子ども若者相談支援事業（役場でのワンストップ対応化） ★子育て支援拠点整備事業 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども若者の多様な相談については、ワンストップ対応となるよう、関係各課が連携し対応に努めている。 <p>【課題】</p> <p>【R2取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 希望する園児には、午後1時から午後6時まで預かり保育を行っている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園教諭の確保が難しくなっている。 <p>【R2取組内容】</p> <p>【子育て支援拠点整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の給食提供を引き続き実施している。令和2年度はKPIの目標達成に向け、週2回（月・水）1日5組の提供予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のため、昨年同様、1日4組の提供とした。 <p>【一時預かり事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産後8週を過ぎると保育園を退園することになり、そこから一時預かりを利用する家庭が増えてきている。週3日を上限に利用する方も多い。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みらいっこくらぶを利用した際に給食提供を利用する親子がほとんどであるが、それ以外の親子も参加できるように広報をしていく。 ・一時預かりの利用者が子育て支援センターと同室で過ごしているが、人数も増えて定期的に利用されているので、単独の保育室が必要である。 	・引き続き継続していく	住民課 教育委員会 保育園	B
	【KPI】 ○幼稚園預かり保育児童数	目標値	85人	85人	85人	85人	85人		教育委員会	
		実績値	77人							
	【KPI】 ○保育園入所者数と地域子育て支援センター利用者の内給食利用者数	目標値	235食	245食	252食	252食	252食		保育園	
		実績値	271食							
【KPI】 ○未就学児童の増加者数	目標値	43人	45人	53人	53人	53人		保育園		
	実績値	85人								
【KPI】 ○未就学児童世帯員の増加者数	目標値	116人	122人	128人	128人	128人		保育園		
	実績値	216人								

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
21 特色ある教育環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> サッカーの小・中・高の一貫教育体制（徳島ヴォルティスとの連携） 板野高校の教育強化による進学校への推進 英語で特色ある教育環境づくり ★町独自の奨学金制度の継続と定住者への返済免除 学区制線引き廃止の働きかけ（全学区） リタイアメントの人材を活用した各児童館での放課後教育の充実 特別支援学級への教育環境の充実 						<p>【徳島ヴォルティスと交流促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 青少年健全育成事業として、ヴォルティスサッカースクールのコーチに講師を依頼し、幼稚園児と小学生とその保護者を対象とした親子サッカー教室を開催しており、親子の絆を深め、子どもが心豊かに成長する良い機会となっている。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>【町独自の奨学金制度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 返還の期間内（高校8年、大学10年）に板野町に住居登録を有し、かつ居住し、世帯に町税等の滞納がないとき、奨学金等の全部または一部を免除する。ただし、1年ごとに免除申請届が必要で、免除額は届出のあった1年分ごと。 新制度創設に伴い所得認定基準を緩和（H27までは生活保護基準の1.3倍→H28から1.5倍→H29から1.6倍） H28年度以降、毎年、貸与申請者は一定数おり、定住による返還免除制度導入の効果が表われていると考えられる。 H28年度貸付分の返還免除者は1名。H29年度貸付分の返還免除者3名。H30年度貸付分の返還免除者6名。H31年度の返還免除者6名。R2年度の返還免除者8名。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請があっても、所得認定基準を超えているため不認定になってしまう。 <p>〈R2→R3戦略の改善見直し箇所〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して事業を推進していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業を継続していく。 地元の中学校、高等学校へ募集案内のチラシを配付し、奨学金担当教諭と連携をとり、周知に努める。 	教育委員会	A
	<p>【KPI】</p> <p>○町独自の奨学金制度における定住を理由とした返還免除数<再掲></p>	<p>目標値</p> <p>実績値</p>	3人	3人	3人	3人	3人		教育委員会	

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
22 若者専用住宅整備	<ul style="list-style-type: none"> 既存町営住宅の若者向け住宅への改修 民間の建託事業に若者向けアパートの建築助成 立地環境を活かした住宅環境の整備（空き家を活用） ★他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応県産材を利用した住宅の整備 他市町村（県外）からの転入者の居宅新築等の補助金制度・税制度の優遇の創設 地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H27年度に町営平田団地南側に1,435㎡の用地を取得したが、現状は購入した状態のままである。 付近に多くの民間アパートが建設され、また複数の分譲地が整備されたため交通量が増えたため、以前からの懸案であった町営平田団地の駐車場不足（路上駐車）が一段と問題になったため、この用地は駐車場として整備することを決定した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町村からの転入者を対象にした子育て世代対応住宅の建設については、別に用地を取得するが必要になった。 <p>【R2取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） <p>検討したが、町に見合う事業は無かった。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> （地域おこし協力隊を活用し、定住・定着の推進） <p>地域おこし協力隊の任用</p>	建設候補用地等と、活用できる交付金等を探し、転入者の居宅新築等の補助金制度や税制優遇について検討する。	建設課産業課	B
	<p>【KPI】</p> <p>○子育て世代（転入者対象）住宅整備数<再掲></p>	目標値	-	-	-	-	1棟		建設課	
		実績値	-							
	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
23 特定健診受診率	<ul style="list-style-type: none"> ・健診対象の40歳の方への受診推進 ・30歳代健診や子育て世代の簡易血液検査、血糖相等を通じた若い世代の健康づくりの推進 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40歳の方への受診勧奨 事業実施に向け関係者間での協議 町広報での啓発 町内医療機関に受診勧奨の協力依頼 電話、訪問による受診勧奨 医療機関健診、集団健診の実施 保険料通知発送時に啓発チラシを同封 結果説明会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・30歳代健診や子育て世代の簡易血液検査、血糖等を通じた若い世代の健康づくりの推進 30歳代健診の実施 乳幼児健康診査時に希望する保護者に簡易血液検査の実施、必要時保健指導の実施 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不在や連絡先不明なことがあり、受診勧奨が困難であった住民が健診への関心もてる広報の検討 	継続して取り組む	福祉保健課	B
	<p>【KPI】</p> <p>○特定健診受診率</p>	目標値	42%	42%	42%	42%	42%		福祉保健課	
		実績値	31.3%							

基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
24 子ども家庭総合支援拠点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ★子ども家庭総合支援拠点の令和4年度までの設置 ★子ども家庭支援全般に係る業務(実情の把握、情報の提供、相談等への対応、総合調整) ★要支援児童及び要保護児童等への支援業務 ★危機判断とその対応、調査、アセスメント、支援計画の作成等、支援及び指導等、児童相談所の指導措置委託をうけて町が行う指導 <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連絡調整 ★適応指導教室の開設 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度当初の設置を目指して、国等から提供される先進地事例等の資料に基づき、支援拠点における人員体制や子ども支援の専門性などについて検討及び準備を進めている。 ・町要保護児童対策協議会のケース検討会等で明らかにされる本町の子どもを取り巻く状況を踏まえ、支援拠点と適応指導教室の有り様を検討。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待、不登校、家庭の困りごとなど、幅広く対応するため、支援拠点の設置について慎重かつ十分な検討が必要。 	継続して取り組む。	住民課 教育委員会	B
	<p>【KPI】</p> <p>○子ども家庭総合支援拠点を令和4年度までの設置 :相談件数</p>	目標値	-	-	-	100件	100件		住民課 教育委員会	
		実績値	-							

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
25 多世代交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 多世代が交流できる拠点の環境整備（あせび温泉と道の駅の活用） 養護老人ホーム入所者の拡充（県外高齢者移住促進） 介護予防事業・高齢者学級の充実 	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <p><サロン活動> 地域の人同士のつながり深める自主活動の場（サロン）の設置・運営等を支援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> あせびサロン4回開催60人参加 <p><介護予防事業> 第1号被保険者を対象に生活機能の維持・向上を目的として、介護予防教室、出前教室を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護予防教室42回開催645人参加（令和2年度） 出前教室3回37人参加（令和2年度） <p><養護老人ホーム事業概要と進捗状況> 養護老人ホームの空室に県外高齢者の移住希望者に入居してもらおう。7月13日現在入居者30人であり、残り18人受け入れ可能となっている。県内他市町からの入居はあるが、県外からの入居者は現在いない。</p> <p><課題> 入居者が増加するための施策検討。</p>	引き続き継続する。	福祉保健課 老人ホーム	B
	【KPI】 ○多世代交流サロン箇所数	目標値	—	—	—	1カ所	1カ所		福祉保健課	
		実績値	0カ所							
	【KPI】 ○徳島型CCRC構築への取組回数	目標値	—	—	—	—	1回		福祉保健課	
	実績値	0回								

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
26 消費喚起の拡充	★プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援 ★高齢者（75歳以上）タクシー助成券の充実 ★敬老年金の継続	推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 （プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援） 新型コロナウイルス感染拡大の影響で経済が疲弊しているための景気対策として、町内の景気を活性化することを目的として、プレミアム付商品券（プレミアム率20%）を発行した。 【課題】 （プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援） 購入費用が必要なことや、煩雑な手続きが必要となるなど、対象者のニーズを十分に把握することが必要と考える。また、商品券の利用が大型店に偏っていたことから、大型店以外の商店にも、消費喚起の効果をどのようにもたらすかを検討する必要がある。 【R2取組内容】 <タクシー助成券の概要> 75歳以上で要件を満たす高齢者がタクシーを利用する場合に、その料金の一部を助成することにより、外出（買い物・通院）等を支援する。 【交付金額】年額6,000円（500円×12枚/1人あたり） 【進捗状況】平成28年9月より事業開始し5年目、令和2年9月～翌年5月までの9ヶ月間での利用率は28.8%、月平均の利用者数256人、タクシー券の利用目的は65.0%が「通院」、20.2%が「買い物」、14.8%が「その他」となっている。 【課題】タクシー券の交付事業を初めて5年余りが経過し、事業の周知を継続していく、利用者の現状・ニーズを把握しておく必要がある。 <敬老年金の概要> 75歳以上で要件を満たす高齢者に、敬老年金を現金給付し、長寿を祝福し、生活意欲を高め、福祉の増進を図る。 【給付額】年額5,000円（1人あたり） 歴史のある事業で、高齢者は楽しみにしている。 現金手渡し給付を基本とし、高齢者の安否確認を兼ねる。	（プレミアム商品券を発行し町内商工業の振興支援） これまでの課題を踏まえながら、新型コロナウイルスに関係する経済の落ち込みを防ぎながら、地域における消費を喚起するため、引き続きプレミアム付商品券事業を実施する方針である。 <タクシー助成券> 引き続き継続する R3年度より、交付枚数を24枚に拡充する <敬老年金> 引き続き継続する	産業課 福祉保健課	A
	【KPI】	目標値	36,000枚	36,000枚	36,000枚	36,000枚	36,000枚			
	○プレミアム商品券利用枚数	実績値	143,378枚							
	○タクシー助成券利用枚数	目標値	10,000枚	10,000枚	10,000枚	10,000枚	10,000枚			
		実績値	9,773枚							
								産業課 福祉保健課		

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
		R2	R3	R4	R5	R6				
27 生活支援策の充実	・生活困窮者の支援強化（生活困窮者相談所やセーフティネットの強化）	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <p>生活困窮者からの相談を受け、①生活困窮者の抱えている課題を評価・分析（アセスメント）し、そのニーズを把握②ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう、自立支援計画を策定③自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう、関係機関との連絡調整を実施等の業務を行う。</p> <p>【課題】</p> <p>計画的な生活再建には家計管理も重要となることから、家計相談支援をあわせて強化する必要がある。</p>	生活困窮者の早期把握に努める	福祉保健課	B
	【KPI】 ○各機関・くらしサポートセンターの連携機関数	目標値 実績値	-	-	-	1カ所	1カ所			福祉保健課
28 シルバーパワーの活用	・「（仮称）まちづくり協力隊」の編成	推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <p>元気な高齢者を対象として、ボランティアでまちづくり（奉仕作業等）に参加していただく方を募集し、社会貢献活動に参加することで、自分自身の生きがいや仲間づくりにつなげることを目的としていたが、新型コロナの影響により、住民への周知もできていない状況である。</p> <p>【課題】</p> <p>新型コロナの終息が見通せない状況で、本事業をどのように展開していけばいいのかが課題となっている。</p>	新型コロナの状況により事業の継続、中止を検討する必要があると考えている。	福祉保健課	B
	【KPI】 ○「（仮称）まちづくり協力隊」会員数	目標値 実績値	-	-	-	5人	5人			福祉保健課

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
29 住民参加による実行部隊の形成	「板野町総合戦略評価委員会」の開催		推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 12名で構成される板野町総合戦略評価委員会を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催し、令和元年度の各種事業について委員から評価及び意見を頂いた。 【課題】 新型コロナウイルスの影響から、書面での開催が想定される。	毎年度、8月に前年度の事業の検証を行うため評価委員会を開催する。	総務課	A
	【KPI】 ○「板野町総合戦略評価委員会」の開催回数	目標値	1回	1回	1回	1回	1回			総務課	
		実績値	1回								
	【KPI】 ○「(仮称)板野ふるさと会」の参加者数	目標値	10人	10人	10人	10人	10人			総務課	
実績値		0人									
	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
30 消費者被害防止やエシカル消費の浸透	★「新未来創造・消費者行政推進特区」事業		推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 (要見守りリストに基づく訪問数) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い実施できなかった(見守り訪問) 新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い実施できなかった(エシカル消費の認知度) 講座実施等により、エシカル消費の推進を継続して行っている (小・中学校を対象とした授業実施) ・夏休みの課題を消費者被害防止等をテーマに作成 ・携帯電話等における消費者被害防止の啓発物を配布 ・小学生を対象にエシカル消費に関する講座を開催 【課題】 ・訪問における人員と時間の確保が困難である ・消費者教育を授業に取り込むことが難しい	令和元年度をもって特区事業は完了したが、特区期間で培ったものを活かし、今後も引き続き消費者被害防止やエシカル消費の浸透に努める	産業課	B
	【KPI】 ○「要見守りリスト」に基づく訪問数	目標値	—	—	—	—	—	100%		産業課	
		実績値	0%								
	【KPI】 ○「消費者被害防止のための地域見守り活動及び啓発活動等の強化」見守り訪問件数	目標値	300件	300件	300件	300件	300件	300件		産業課	
		実績値	0件								
	【KPI】 ○「エシカル消費の浸透」認知度	目標値	—	—	—	—	—	6割		産業課	
実績値		推進									
【KPI】 ○「小・中学校を対象とした消費者教育」授業実施	目標値	—	—	—	—	—	9学年		産業課		
	実績値	0件									

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
31 空き家の除去の推進	・ 空き家再生促進事業		推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】 老朽危険家屋の除却に対して最大80万円の補助金の支給。 また、町内の空き家の施策の方針となる空家等対策計画の策定をした。</p> <p>【課題】 補助金を使っての空家の除却が現在のところ0であり、空家所有者に対して補助金についての十分な周知が行き渡っていない。</p>	空家等対策計画に基づき、空家の抑制及び除却に努める。	環境生活課	B
	【KPI】 ○空き家除去数	目標値	2件	2件	5件	5件	5件			環境生活課	
		実績値	0件								
32 木造住宅耐震診断実施促進	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6				
	・ 木造住宅耐震化促進事業		推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】 木造住宅の耐震診断に対して3.7万円の補助を8件、診断後の補強計画作成に対して6万円の補助を4件実施。 また、耐震改修に対して120万円の補助を5件、住宅の建替のための除却に対して30万円の補助を1件実施。</p> <p>【課題】 令和2年度はコロナウイルスへの警戒感から人と会うことを避けたためか、耐震診断の実施数が大きく減少した。 また、建材の確保も滞り、耐震改修工事も遅れがちだった。これらはコロナウイルスの沈静化を待つほかないが、その後の耐震化への意欲を再起するため、広報などに力を入れる必要がある。</p>	徳島県耐震化促進計画が改定され、新たに減災化の考え方が提起された。 正式公布後に町計画も改めた上で広報に力を入れ、耐震性の確認および耐震化の実施、減災化の取り組みを促進する。	建設課	B
	【KPI】 ○耐震診断の実施回数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件			建設課	
		実績値	8件								
【KPI】 ○補強計画の作成数	目標値	20件	20件	20件	20件	20件			建設課		
	実績値	4件									

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
33 ネーミングライツ制度の導入	・公共施設の維持管理、改修事業		推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <p>現在契約中の4施設のネーミングライツ料については、将来的な改修に備えるため町の公共施設等整備基金へ積み立てた。 また、残りの施設について町ホームページ及び広報誌において、新たなネーミングライツを募集した。</p> <p>【課題】</p> <p>残りの施設のネーミングライツ募集について、現在行っている町ホームページや広報誌以外の募集方法を模索する必要がある。</p> <p>①郡頭の郷⇒コールセンターパーク郡頭の郷 ②板野町町民ふれあいプラザ ⇒富士ファニチアふれあいプラザ ③西中富自歩道橋(370号橋)⇒山本漬物食品自歩道橋 ④健康の館⇒カローリング協会あせび板野健康の館</p>	引き続き、残りの施設のネーミングライツ募集を推進する。	総務課	A
	【KPI】 ○ネーミングライツ制度導入施設数	目標値	6件	6件	6件	6件	6件			総務課	
		実績値	4件								
34 福祉施設のバリアフリー化	・高齢者等が施設を利用しやすくするため手すりや段差の解消等を整備		推進	→	→	→	→	<p>【R2取組内容】</p> <p>令和2年度から3年度への繰越事業として、大寺老人憩の家建替工事を実施。段差解消、トイレブースの拡大、手すりの設置、24時間換気、駐車場増設、資源ゴミ分別エリアの拡大、室内外の倉庫設置により利便性の向上が実施できた。</p> <p>【課題】 特になし</p>	経年劣化が著しい施設での改修工事時に必要なバリアフリー化、又、利用しやすい施設となるよう整備を図る。	福祉保健課	A
	【KPI】 ○バリアフリー化された福祉施設数	目標値	1件	1件	1件	1件	1件			福祉保健課	
		実績値	1件								

基本目標4 活力ある暮らしやすい地域づくり

	主要事業の概要・数値目標		工程（年度別事業計画）					事業概要と進捗状況・課題	今後の取組方針	担当課	自己評価
			R2	R3	R4	R5	R6				
35 福祉施設の耐震化	・耐震化された福祉施設数		推進	→	→	→	→	【R2取組内容】 那東老人憩の家耐震化工事を実施 【課題】 耐震化による最低限度の工事であり、他の不具合箇所の高額となるため箇所の工事はできてない。そのため活用できる補助金を模索する。	予算状況を勘案しながら耐震化に努める。	福祉保健課	A
	【KPI】 ○老人憩の家等の耐震化	目標値	1件	1件	1件	1件	1件			福祉保健課	
		実績値	1件								

外部評価委員からの意見

道の駅の今後の更なる展開に期待している。

道の駅のいろいろなものを含んだイベントが可能な、この場所はとても重要だと思うので、子育てをしている親子が共に参加できるようなイベントをする、そういうのを定期的にする事で、人の流れを作ることに、役立つのではないかなと思いますので、その辺りをなにか考えていただけたらと思います。

今、お遍路さんが1割も来ていません。お遍路さんがたくさん動き出したら、もっともっと色々やっていただけるように協力はしたいと思っています。

道の駅が出来て若い農業の後継者・経営者になっておられる方もおりますが、道の駅に出品するがために新しい作物。まだ大規模経営になる前試作段階で新しい作物を種をまいたり植えたり販売目的に、いま若い人がどんどんやっております。これが一生の仕事として、皆々が自分の農業で研修しながらやっておるので、これはいつの日か日の目を見erると思っております。

板野町には宿泊するところが非常に少ないと思われるので、道の駅もオープンしたことから宿泊施設を誘致することで、県外から来られる方にも出張しやすい場所になるのかなと思います。

道の駅北側の町有地には、地域的条件的にも見ても非常にいいところではないかなと思いますので、出来ましたらぜひ優良企業を誘致していただき人流に繋がるような誘致に繋げていただきたい。

子育て支援に対して大変充実してきているなと体験して感じました。

タクシー券は大変ありがたいと感じるが。元気で車乗れるお年寄りもたくさんいることから、出来たら商品券をいただけたらと思いますので、お考え頂けたらと思います。

ぜひ県とコラボレーションしながら板野町をしっかりとPRしていただければありがたいと思っています。この10月には、あすたむらんどに相当の規模の木育の美術館が出来るので、コロナという状況でなかなか制約あると思いますが、道の駅あるいは3つの札所がある処も、なかなかない町でもありますし、あすたむらんどに新しい親子向けの木育の博物館が出来るということでございますので、こちら辺りもうまく町と県がコラボレーションしながら情報発信SNS等を使った発信をしていただければありがたい。

木育の美術館というのはトピックスできる限りのニュースなどでも取り上げていただけると、今非常に繋がりが弱いところがあるので、繋げていくと非常に素晴らしい観光も含めた誘客のコンテンツがあると思いますので。テレビでも扱っていただけたらありがたい。

ホームページの発信力が苦言を呈すようですけども、非常に弱いなというのを実感として感じました。

今、県内の高校生が大学に行くときには、どんどん県外に出ている。県外に出ているという現状で、若者自身で徳島県って面白いよなあという風にお互いに言い合えるような環境を作る必要があると思っています。それが今、ネットの中にありますので、そのプラットフォームを是非作っていただくことで、かなり変わってくると思いますので。その辺を積極的に考えて頂きたい。

